

●国際食料情報学部国際バイオビジネス学科（高一種免（農業））

①教員養成に対する理念

本学の教育理念である実学の精神を授業に取り入れ、中等教育・高等教育の専門授業や体験授業を指導できる教員を養成する。専門教育と教職教育を有機的に関連づけながら、実学の特色を活かし具体的かつ効果的な指導が可能な、実践的指導力を育成する。さらに、近年、重要な教育問題となっている心の教育や、いじめ、引きこもりなど人間関係に起因する諸問題に対応可能な教員の養成を目指す。生徒から信頼され、尊敬され、豊かな教養や生徒への愛情と理解を持つ教員となるための、コミュニケーション能力、協調性、教育者としての使命感を育成する。

②教職課程の設置趣旨

国際バイオビジネス学科は、人類の生存に最も重要な食料・環境にかかわるビジネス（バイオビジネス）の教育・研究を行い、食料の生産、加工流通、支援サービス、さらには生態系を踏まえた地域環境・資源の分野において持続的な経営発展を推進するバイオビジネスの専門的知識と技術を身につけた国際的人材を養成する。具体的には、次のような者の養成を教育目標とする。

- ・国内外の食料の生産、加工、流通、支援サービスに関するビジネスの専門家
- ・地域環境・地域資源の分野において持続的な経営発展を推進する専門家
- ・国内外の食料の生産、加工、流通、支援サービスに関する情報処理技術の専門家

本学科の教育の特色は、本学が農業系総合大学であり理系学部・学科が多い中、社会科学系学科としての独自性を保持し、経営学を中心に情報科学と環境学を連携させ国際的なバイオビジネスの発展に寄与する教育研究を実施する点にある。

農業（高等学校一種）の教職課程に必要な教育システムの概略は次の通りである。

農業（高等学校一種）においては、学部専門科目に植物とバイオテック、畜産学概論、山村地域再生・活性化の科目を配し、学際領域科目として食農教育論、海外農業事情論など農業系科目の教員として必要な基礎教養の修得を目指す科目を配置している。また専門基礎科目として、農業経営学、国際アグリビジネス論を配し、国際的な農業経営を中心とした問題意識の共有と理解を深化させる教育を実施している。専門科目では、経営学を中心とした専門科目の他、環境調査・分析演習や統計学の授業にて事象を分析し理解するための能力開発や、バイオビジネス実地研修による農業現場体験、経営実践論による実務としてのビジネス現場を意識した教育も実施している。以上のような科目の他、教職関連の全学共通科目を履修させ、農業（高等学校一種）の教員養成のための教育システム配置している。

<目指す教員像と設置趣旨>

教員は、その教育において人類が蓄積してきた諸価値を伝承し、生徒の育成を通じて人的資源を維持・発展させることで社会に貢献するという使命を担っている。また教員は、可能性を秘めつつも傷つきやすい生徒を支え、希望を紡ぎ、能力を引き出す責務がある。本学の教育理念は、これら教員の使命・責務を机上の空論ではなく実学としてとらえ理解することを目指すものである。本学の実学の精神、本学科の多彩な教育システムを背景に、国際的な視野と教養を持つ教員の育成が本学科の社会的責任であると考え、農業（高等学校一種）の教職課程を設置するものである。